

「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」たより 創刊号

# 「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」たより

—設立総会を終え、活動がスタート—

## 協力会の発足にあたって

協力会会長 江藤昌晴

[▶ 協力会会則へ](#)

[▶ だより第2号へ](#)

名誉顧問・名誉会員の先生方等、40名の先生方が「協力会」にご参加くださいました。心から御礼申し上げます。

60周年記念式典当日、会長の牧野先生のご挨拶で、会費が従来の学校単

位から個人会費となり、研究会の運営が非常に困難になったことを初めて知りました。この伝統ある研究会の将来を思い、愕然としました。後日、辻本先生から「協力会」のお話があったとき、お世話になった研究会のお役に立つのならと、発起人の一人になりました。

「協力会」はスタートしたばかりです。今後とも伝統ある「研究会」の発展のために、ご支援くださいますよう切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、この会の立ち上げにあたり、ご指導、ご助言をいただきました多々先生、足立先生に心から感謝申し上げます。

### 設立総会 の報告

①日 時 2009年6月3日(水)午後5時から

②場 所 府立高津高等学校・同窓会館

③発起人 江藤昌晴、中野俊勝、梶村重次、辻本昭信、松本弘

④総会次第 司会 辻本

1、発起人代表挨拶・・・江藤昌晴

2、会則(別紙)承認と会員名簿・・・⑥参照

3、役員選出

会長・・・江藤昌晴

副会長・・・中野俊勝

幹事(事務、会計、会計監査など)・・・辻本昭信、松本弘、

梶村重次

賛助会員代表・・・牧野修司、寺岡正裕

4、会計報告・・・⑦参照

5、行事・会務

全会員への文書「協力会たより」の発送

今年度の行事・・・⑤参照

その他・・・研究会のホームページ(<http://www.omnh.net/seiken/>)

に「協力会」を掲載

6、閉会の挨拶・・賛助会員代表 牧野修司

7、参加会員・・上記役員と足立堯、多々浩爾、中村武男

賛助会員は牧野修司、寺岡正裕、柴原信彦

## ⑤今年度の行事

1、日時 11月23日(月)大阪市立自然史博物館 10時30分

2、集合場所 自然史博物館の正門入り口・・入館料は会でもちます

3、内容 生徒生物研究発表会、自然史博物館、植物園の見学

4、弁当、飲み物持参で御集合下さい

## ⑥『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』会員名簿

(記載順は生物教育研究会会誌役員名簿による)

(正会員)

浅野素雄 今安達也 松田仁志 和佐真宏  
佐古廣衛 原本哲也 多々浩爾 中原 圓 山田孝子  
渡辺勉治郎 山田 惇 寺井見一 足立 堯 萱村善彦  
原田 彰 福坂邦男 平賀正男 古久保俊子 三木正士  
江藤昌晴 西川 巖 吉川 浩 中村武男 河野成孝  
梶村重次 中野俊勝 辻本昭信 松本弘 山住一郎  
奥本 隆 石崎英男

以上31名

(賛助会員)

牧野修司 奥野嘉彦 杉山友重 富田織江 大島みどり  
小畑和人 大江 進 寺岡正裕 柴原信彦

以上9名

★住所、電話等の個人情報については[事務局](#)へお問い合わせください。

## ⑦会計報告

| 収入(会費・寄付金) |     | 支出        |         |
|------------|-----|-----------|---------|
| 2,000円     | 9人  | 払込料金      | 4,280円  |
| 3,000円     | 21人 | 事務費(切手など) | 5,497円  |
| 5,000円     | 7人  | 助成金       | 80,000円 |

10,000円 2人 支出合計 89,777円

15,000円 1人

収入合計 151,000円

差引残高 61,223円

### ⑧研究会との合同懇親会

開会挨拶・・・生物教育研究会会長(牧野)

助成金の贈呈と挨拶・・・協力会会長(江藤)

先輩挨拶・・・足立、多々

現役の先生、協力会員自己紹介 和やかな懇親

閉会挨拶・・・協力会副会長(中野)

## 研究会総会記念講演の内容紹介

(設立総会当日、3時より行われた)

講師 大阪府教育センター 理科第2室長 江坂 高志先生

題目『教育センターと私を顧みて』

A、「大阪府教育センターの20年」という荒川久男氏の論文をもとに話された。

- 1、科学教育センターの創立の時代
- 2、科学教育センター発足の気運
- 3、創設事務室の設置と建設

- 4、理科研修始まる
- 5、研修について
- 6、南館の新規増築
- 7、全国理科教育センター協議会など
- 8、昭和58年度高等学校理科(生物)研修予定表についてなど

B、種々の生物教材の研究と課題について話された。

- 1、アフリカツメガエル
- 2、ミズクラゲ(特に幼生エフィラの無性生殖について)
- 3、オビカレハ(成虫は解剖に適している)
- 4、アメリカシロヒトリ
- 5、モンクロシャチホコ
- 6、ヒドラ
- 7、ゾウリムシ(飲料水・生茶でも培養可能。接合の時期について)
- 8、タマキビガイ(潮汐、負の走光性?)
- 9、センチュウ(C、エレガント)
- 10、魚のメラノーマ

## 研究会に対するご支援の御礼

大阪府高等学校生物教育研究会

会長 牧野修司

拝啓

梅雨の候 先輩方におかれては。ますますご健勝のことと存じます。日頃より研究会にご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、このたび名誉会員の先生方が中心になり、研究会を支える「協力会」を去る6月3日に設立していただきました。当日は、お忙しい中、多くの先輩方が研究会総会時の、教育センター江坂高志理科第二室長による記念講演から参加され、その後の協力会総会にて研究会への助成金を決定していただき、早速、合同懇親会にて研究会委員の見守る中で、江藤昌晴協力会会長から助成金の贈呈を受けました。

名誉顧問、名誉会員の多くの方々が、協力会に参加をいただき、このたびの助成金受領となりました。先輩方の研究会に対する、大きな期待と愛情の表れと、重く受け止め身を引き締め、現役としまして、研究会の活動を通じて、責任を果たしていきたいと考えます。

これまで先輩方が築いてこられた研究会は、それらの意志を引継ぎ、現在も活発な活動をめざしております。これからも、研究会活動に参加していただき、研究会へ叱咤激励をいただければ幸いです。

取り急ぎ、今回の協力会からの助成金の御礼を申し上げるとともに、今後も引き続き、種々ご支援をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

敬 具

## 協力会発足によせて “人とのつながり”

協力会副会長 中野 俊勝

生物教育研究会協力会が発足し、在職時代からの先生方とのお付き合いが、これからも続くことを大変嬉しく思います。

定年退職をして早六年目となっておりますが、昨年私のこれまでの教育活動をまとめて、『つながり 教職の魅力』（出版社アットワークス）という本を著しました。

初任校の隔週定時制のことに始まって、第六十回日生教全国大会大阪大会のこと、部活動の生物研究部から育っていった卒業生のことも含めて、さらにPTA活動、国際交流などを綴ったものです。

書名にあるように、私の恵まれた人間関係(上司、先輩、同僚、卒業生、保護者など)をポジティブ思考で表し、教職の楽しさを記した。今までのところ、読後の感想として「感動した」、「一味違った教育図書」などを寄せていただいている。協力会会員の方々にもご高覧いただき、ご指導を賜れば幸に存じます。

## ご連絡

### 1 今年度の行事

総会報告にあるとおりです。改めては連絡しませんので、予定していただき、ご都合を付けてぜひ参加ください。

### 2 会員の近況について

来年度お聞きしてまとめたいと思います。

### 3 研究会より「生物よりみた大阪 5」をいただきましたので同封します。

4 研究会への思い、近況など投稿いただきましたら来年の「協力会たより」に掲載します。

### 5 事務局(主坦 辻本昭信)

振替 口座番号 0910-2-226178

口座名 大阪府高等学校生物教育研究会協力会

住所 高槻市西冠1-10-1

電話 072-675-1710

FAX 072-675-1736

メール s.tsujimoto@tcn.zaq.ne.jp (迷惑メール対策で◎にしています)

《ご意見や、お尋ねなど遠慮なくご連絡ください》

## 「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」会則

### 名称

- 1 本会は「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」といい、事務局を本会会計幹事の自宅に置く。

### 目的

- 2 本会は、大阪府高等学校生物教育研究会（以下生物研究会と記す）の活動に協力・援助するとともに、会員相互の親睦をはかり、「生物」について研鑽することを目的とする。

### 事業

- 3 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。
  - (1) 生物研究会の活動に対する助成
  - (2) 見学・観察・研修会の開催（年1回程度の独自開催または生物研究会行事への参加）
  - (3) 懇親会（総会）の開催
  - (4) 生物研究会の周年祝賀行事への参加
  - (5) その他、本会の目的達成のために必要な事業

### 会員

- 4 本会の趣旨に賛同した次の者を会員とする。
  - (1) 正会員（退職の生物研究会関係者）退職会員・名誉顧問・名誉会員
  - (2) 賛助会員（現役の生物研究会関係者）会長・副会長等

### 役員

- 5 本会に次の役員をおく。役員は総会で選出し、その任期は3年とする。
  - (1) 会長 1名

- (2) 副会長 1名
- (3) 幹事 若干名(事務・会計・会計監査も担当)
- (4) 賛助会員代表 2名

### 会議

6 本会に次の会議を設ける。

- (1) 総会(活動計画報告、決算等を行う。また会員相互の親睦を図る。)
- (2) 役員会(会長が必要に応じて役員を招集し、会の運営に必要な事項を決める。)

### 会費

7 本会の会費は正会員については年間3,000円、賛助会員は2,000円とする。なお、寄付金は会費納入時または随時に受け入れる。

[▶ Home <](#)

# 「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」会則(案)

## 名称

- 1 本会は「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」といい、事務局を本会会計幹事の自宅に置く。

## 目的

- 2 本会は、大阪府高等学校生物教育研究会(以下生物研究会と記す)の活動に協力・援助するとともに、会員相互の親睦をはかり、「生物」について研鑽することを目的とする。

## 事業

- 3 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。
  - (1) 生物研究会の活動に対する助成
  - (2) 見学・観察・研修会の開催(年1回程度の独自開催または生物研究会行事への参加)
  - (3) 懇親会(総会)の開催
  - (4) 生物研究会の周年祝賀行事への参加
  - (5) その他、本会の目的達成のために必要な事業

## 会員

- 4 本会の趣旨に賛同した次の者を会員とする。
  - (1) 正会員(退職の生物研究会関係者)退職会員・名誉顧問・名誉会員
  - (2) 賛助会員(現役の生物研究会関係者)会長・副会長等

## 役員

- 5 本会に次の役員をおく。役員は総会で選出し、その任期は3年とする。
  - (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 1名
  - (3) 幹事 若干名(事務・会計・会計監査も担当)

(4) 賛助会員代表 2名

### **会議**

6 本会に次の会議を設ける。

(1) 総会(活動計画報告、決算等を行う。また会員相互の親睦を図る。)

(2) 役員会(会長が必要に応じて役員を招集し、会の運営に必要な事項を決める。)

### **会費**

7 本会の会費は正会員については年間3,000円、賛助会員は2,000円とする。なお、寄付金は会費納入時または随時に受け入れる。

(附則) 本会則は、2009年6月3日より施行する。